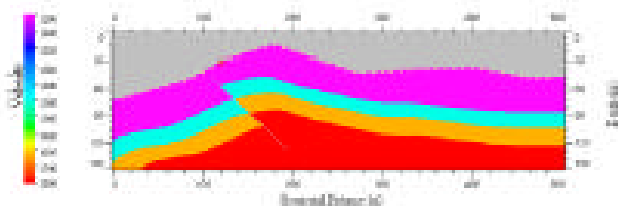


2Dサイスミックトモグラフィープログラム

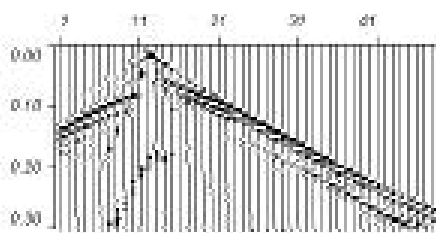
GeoCT-II は、2D トモグラフィーとレイトレーシングによる屈折法、反射法、クロスホールおよびVSPジオメトリーのアプリケーションプログラムです。

特徴

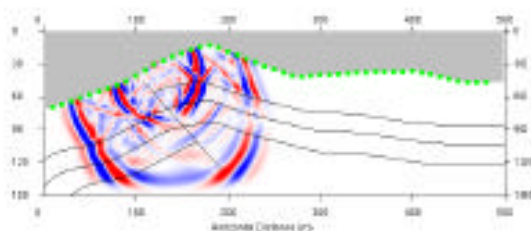
- * 地層、断層、異常構造物など2Dモデルが作成できる。
- * モデル内の任意の場所に起震点、受信点を設けることができる。
- * 音響・弾性波のいずれに対してもFDM(Finite Difference Method)を適用できる。
- * 地表多重反射の追加と削除、直接波の追加が可能。
- * フルウェーブ合成とスナップショット・動画の製作



地層、異常物体、断層のモデル作成
時間と深度のいずれのモデルも対応可能
SEG Yあるいは画像の参照
水平・垂直の速度漸増



標準SEG Y内での合成
AGCやスケールの表示設定



波動の時間ステップごとの表示
スナップショットの動画



GeoCT-IIの基本メニュー

Time Picker

SEG2-SEG Y変換、手動と自動ピックアップ (各2タイプ)、SEG Yヘッダーの解析および編集、など

View Time

走時曲線の表示および往復性のチェック、不適切な初動値の自動検出と削除、トモグラフィ結果のQC、データを用いての速度モデルの作成、

View Model

速度モデルの表示と解析、レイパス上や反射物上に重ね合わせ、速度モデルの取り出しや拡張、モデルのSEG Yフォーマットへの変換、グリッドサイズの変更など

Raytracing

屈折、反射、クロスホール、単独ホール、VSPジオメトリーにおける波面の走時とレイパス計算、ジオメトリーの作成

Tomography

屈折、クロスホール、VSPジオメトリーに関する非線形トモグラフィ画像、初期速度モデルを用いての(あるいは初期モデルなしでの)処理、入力パラメータの有無に関わらずのトモグラフィ解析、速度検層など他の結果を加味した解析

Migration

屈折走時深度マイグレーション、屈折走時データからのマイグレーションデータ作成、複雑な表層構造下での反射構造の図化

Build Model

手動操作での任意速度モデルの作成、任意物体や境界、反射構造の描画、グリッドモデルへの変換、グリッドモデルの変更・調整

Raypath

レイパスの表示と解析、各受信点とそれに対応する起震点と組み合わせの表示

Utility

屈折初動から速度モデルの作成、速度検層から速度モデルの作成、地表地形の追加など



株式会社 テラ
(テラ=Terra)

東京事務所

郵便番号 170-0013
東京都豊島区東池袋四丁目3 - 4 MHC 第5ビル 1001
電話 03-5979-7339 ファックス 03-5979-7382
E-mail: terrajp@rmail.plala.or.jp

本社

郵便番号 365-0064
埼玉県鴻巣市赤見台三丁目15-40
電話 048-596-3147 ファックス 048-596-3255
Web : www.terrajp.co.jp